

横浜ゴム株式会社

トップレベルの環境貢献企業へ



横浜ゴム株式会社
取締役常務執行役員
小松 滋夫
経営管理本部長兼 CSR 本部担当

多面的に推進する環境負荷 軽減の取り組み

横浜ゴムは創業100周年を迎える2017年度を目標に、売上高1兆円を達成するための企業ビジョン「グランドデザイン100 (GD100)」を掲げ、今後の戦略目標が具体的に記載されている。このビジョンの基本方針では「良いモノを、安く、タイムリーに」「高い倫理観を持ち、顧客最優先の企業風土を作り上げます」との言葉の他に「トップレベルの環境貢献企業になります」といった目標が記されている。

同方針の実現に向けて横浜ゴムは温室効果ガスの削減にも積極的に取り組んでいる。その活動においては2017年までに国内外の全生産拠点で50万本の植樹を目指す「YOKOHAMA千年の杜プロジェクト」の他生産現場への高効率設備の導入や徹底した省エネ活動、太陽光発電や風力発電など自然エネルギーの導入なども推

進している。さらに環境負荷を低減する商品開発を積極的に実現している。それらの多面的な取り組みが高く評価され、今回はAリスト入りを果たした。

『環境貢献商品』を98%達成

CDP2016日本報告会で挨拶に立った小松滋夫取締役常務執行役員は、2017年に創業100周年を迎えようとしている今、Aリストの評価を受けた喜びを述べ、その佳節に向けて全商品が温室効果ガス排出量の削減に寄与する『環境貢献商品』となるよう取り組んでいること。そしてすでに現在98%に達している成果を紹介した。その中でも特にタイヤでは最高レベルの環境性能に加え、雨天や降雪時の操縦安定性、耐久性や耐摩耗性能にも優れた商品を提供し続けていると話した。また今後も環境負荷軽減において将来のモビリティ社会をリードする技術開発と共にグローバルなステージでの省エネ活動を行い、「横浜ゴムがないと困る」と言われるようなトップレベルの環境貢献企業を目指していきたいと話し、新たな100年に向けての決意を語った。